

どのむかしばなしかな？①

なまえ

むかしばなしのあらすじと、ただし「だいめい」をせんでむすびましょう

1

あるどうぶつが、たすけてくれたおじいさんとおばあさんにおんがえしをするはなしです。おんがえしのしかたはじぶんの「はね」と、かってきてもらった「いと」をおつてしあげた「きれいなぬの」をうつておかねをかせぐことでした。

2

おしょうがつがちかづいているのに、もちもかえないおじいさんとおばあさんがいました。つくつていた「かさ」をうり、もうけたおかねでおしょうがつのためものをかうつもりが、まったくうれまませんでした。

3

おじいさんがやまでいつものよにきをきっていると、おひるのじかんになりました。おばあさんがにぎってくれたおむすびをたべようとすると、コロコロころがりあなへはいつてしまいました。

4

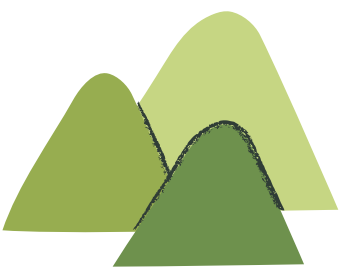
おじいさんがやまへしばかりをしているあいだ、おばあさんはかわでせんたくをしていると、おおきなくだものがながれてきました。いえにもちかえり、たべるためいきろうとしたらげんきなおとこのこがとびだしてきました。

おむすびころりん

ももたろう

つるのおんがえし

かさじぞう



どのむかしばなしかな？②

なまえ

むかしばなしのあらすじと、ただし「だいめい」をせんでむすびましょう

1

おにたちのえんかいにぐうぜん
いあわせたおじいさんが、おどりを
ひろうするはめになりました。
すると、おにたちにおどりをほめ
られました。ひよんなことからず
っときにしていたあるものを、と
られてしまいます。

こぶとりじいさん

2

おじいさんがきつねのこどもに
きのみをとってあげました。ある
ひ、こぎつねとかあさんぎつねか
らおれいにと「ずきん」をもらい
ました。ずきんのおかげで、ちょ
うじやさまのむすめがやまいにふ
せているりゆうがわかりまし
た。

かちかちやま

3

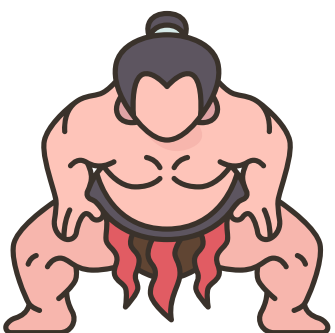
げんきなおとこのこは、やまの
くまとすもうをとってかつほどの
ちからもち。なかまのどうぶつた
ちとでかけているとき、はしがな
くなっていることにきがついたお
とこのこは、きをたをしてはし
のかわりにしました。

ききみみずきん

4

うさぎとたぬきがでてくるおは
なしです。わるいたぬきのせいで
おばあさんがなくなり、なげきか
なしんでいるおじいさんをうさぎ
が、おばあさんのあだうちのため
にたぬきたいじをします。

きんたろう



どのむかしばなしかな？③

なまえ

むかしばなしのあらすじと、ただし「だいめい」をせんでむすびましょう

1

ひとつめのおおとこに、たべものなどをとられてこまっていたむらのひとたちは、おおとこをこらしめようとさくせんをかんがえました。

2

おやゆびほどのおおきさのおとこのこが「さむらいになる」といって、きょうのみやこにでていきました。つかえているいえのおひめさまがおににさらわれましたが、おにたいじをしておひめさまをたすけます。

3

まずしいけれどまじめなわかものが「かんのんさま」にびんぼうせいかつかからぬけだしたいとねがいました。かんのんさまからおつげをもらい、おつげどおりにこうどうすると、いろいろなおことがおきました。

4

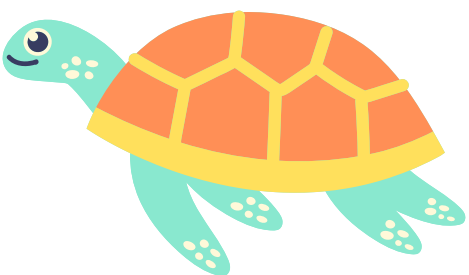
りょうしのわかものが、はまべでこどもたちにいじめられているかめをたすけてあげました。かめはおれいにと、わかものをうみのなかのりゅうぐうじょうにつれていきました。

うらしまたろう

わらしべちょうじや

だんだらぼっち

いっすんぼうし



どのむかしばなしかな？④

なまえ

むかしばなしのあらすじと、ただし「だいめい」をせんでむすびましょう

1

としよりのきこりとわかいきこりがやまできをきっていました。そのやまは「まもの」がでるといいうわさがあり、としよりのきこりは「まもの」がでないかとけいかいしていました。

2

あめがふるたびにながれてしまふはしがありました。むらびとたちからはしをつくるようにたのまれました。おまえのめだまといひきかえにはしをつくってやる」といひ、はしをつくってしまいました。

3

おちやのかまにへんしんしていた「たぬき」がひよんなことからまずしいおとこにひきとってもらい、つなわたりなどのげいを見せ、おかねをかせぎ、おとこはおかねもちになりました。

4

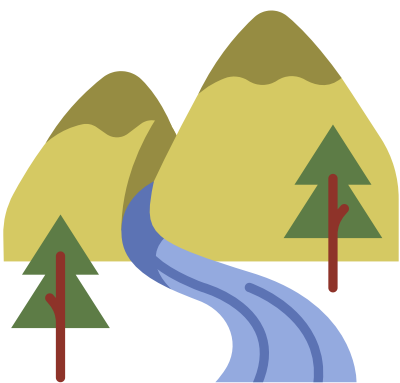
こころやさしいおじいさんといじわるなおばあさんがくらしていました。あるひ、おじいさんがはたけからいへもどるとちゆう、けがをしているどうぶつをみつけました。かわいそうにおもったおじいさんはいえにつれていき、あてをしてあげました。

ぶんぶくちやがま

うしおにぶち

だいくとおにろく

したきりすずめ



どのむかしばなしかな？⑤

なまえ

むかしばなしのあらすじと、ただしい「だいめい」をせんでむすびましょう

1

1 ころやさしいおじいさんとお
ばあさんと、よくぶかいじわる
なおじいさんとおばあさんがとな
りどうしにすんでいました。ある
ひ、やさしいおじいさんのところ
にいぬがはしってきました。いじ
わるじいさんのはたけをあらして
いるというのです。

2

2 たけとりのおじいさんがたけを
きつてみると、ひかりかがやくた
けをみつめました。おじいさんが
きつてみると、そのなかにはちい
さなおんなのこがいたのです。こ
どもものいないおじいさんはいえに
つれてかえり、おばあさんとそだ
てることにしました。

3

3 むかし、かみさまがどうぶつた
ちに「こんどのがんたんにわたし
のところいきなさい。じゅうには
んめまでについたものは、これか
らいちねんこんたいでどうぶつ
たいしようとする」とおふれをだ
しました。

4

4 びょうじやくなおかあさんとお
とこのこがくらししていました。お
かあさんにくすりをかいたくても
おかねがたりず、かえません。ゆ
うふくなおじいさんにおかねをかり
てくすりをかいました。おかねを
かえすために、おとこのこはいっ
しょうけんめいはたらきました。

かぐやひめ

じゅうにしの
はじまり

はなさかじいさん

ごんぞうむし

